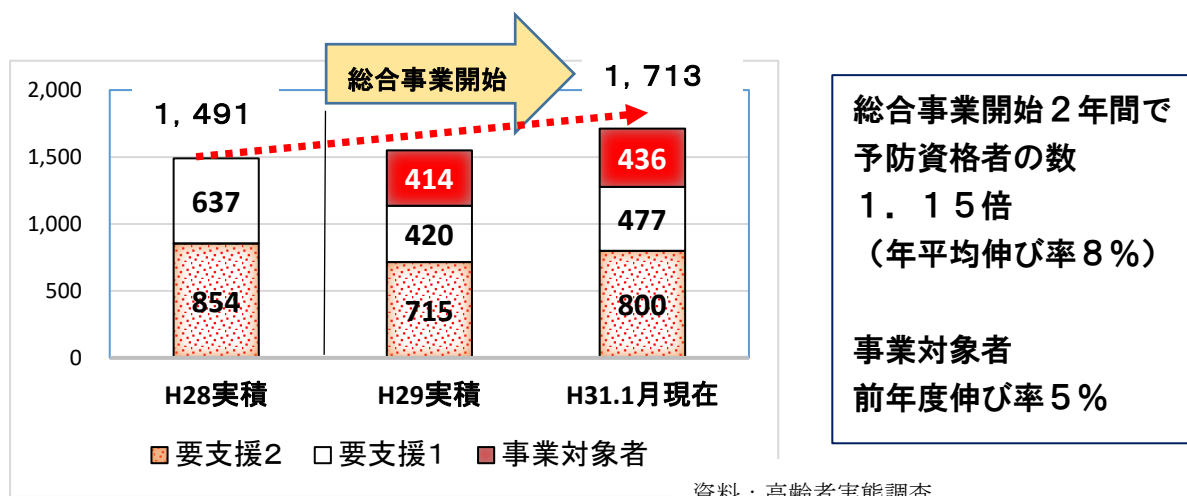


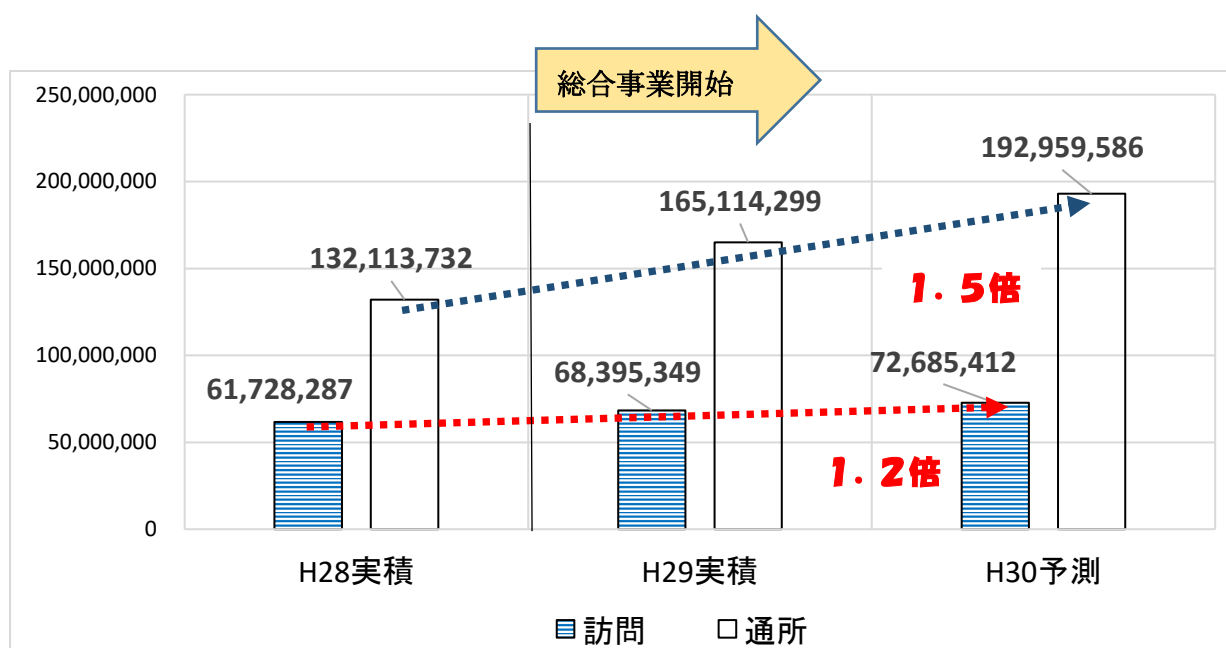
## 5 総合事業の実施状況

### ① 要支援と事業対象者の認定者数の推移（単位：人）



### ② 訪問型・通所型サービスの状況

#### A 要支援・事業対象者の訪問型・通所型サービス事業費の推移（単位：円）



総合事業開始 2 年間で

通所型サービス 1.5 倍（年平均伸び率 23%）

訪問型サービス 1.2 倍（年平均伸び率 9%）

※ 総合事業交付金上限は、事業開始前の実績(H28)に  
直近 3 ヶ年の 75 歳以上高齢者伸び（2%）を掛けて算出

## B 訪問型・通所型サービスの指定状況

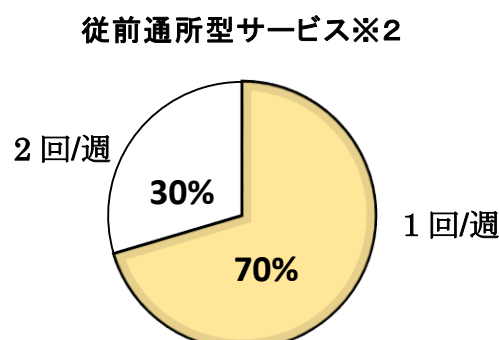
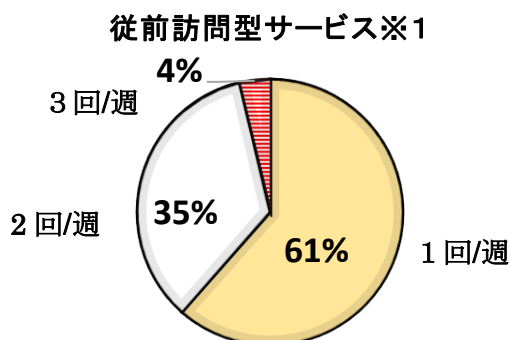
圏域	訪問型サービス						通所型サービス					
	従前 (相当)	独自(緩和)			計	指定事業所数	従前 (相当)	独自(緩和)			計	指定事業所数
		一体型	単独型	小計				一体型	単独型	小計		
栃木東	2	1		1	3	2	8	4		4	12	8
栃木西	4	2		2	6	4	5	1		1	6	5
栃木北	3	2		2	5	3	8	1	2	3	11	10
吹上	2	0		0	2	2	4	0	1	1	5	5
皆川	0	0		0	0	0	5	1	1	2	7	5
寺尾	0	0		0	0	0	1	0		0	1	1
国府	0	0		0	0	0	1	1		1	2	1
大宮	2	1		1	3	2	7	1		1	8	7
大平北	4	1		1	5	4	5	0		0	5	5
大平南	3	2		2	5	3	4	1		1	5	4
藤岡	1	0		0	1	1	5	2		2	7	5
都賀	3	1		1	4	3	3	2		2	5	3
西方	0	0		0	0	0	2	0		0	2	2
岩舟	1	1		1	2	1	6	2		2	8	6
市外	13	2		2	15	13	19	2		2	21	19
計	38	13	0	13	51	38	83	18	4	22	105	86

平成31年4月1日時点

市内事業者で独自（緩和）型の指定許可を受けているのは訪問・通所型とも全体の1/3  
独自（緩和）型サービスがない圏域がある

## C「事業対象者」のサービスの利用状況

資料：国保連審査支払データ（平成30年8月審査分）



※1：介護福祉士などの専門職が提供する身体介護を含む生活援助等の60分程度のサービス

※2：専門職による生活機能向上の機能訓練、入浴や食事の通所型サービス

事業対象者の従前訪問型サービス週2回以上の利用が4割。従前通所型サービス週2回の利用が3割。※独自型（緩和）利用者 訪問型サービスAは5人（3事業者）。通所型サービスAは11人（3事業者）。

### 課題

- 1 独自（緩和）型サービス事業者指定強化と利用の促進
- 2 状態像における適正な認定区分と事業の適正化
- 3 介護予防ケアマネジメントの分析による状態像にあわせた市独自サービス例の検討
- 4 多様なサービスの整備（通所型サービスCなど）
- 5 地域のサービスの整備と地域のサービスへ繋ぐ方法の検討（確認シートの変更等）